

2027年国際園芸博覧会の正式略称が「GREEN × EXPO 2027」に決定！

公式ロゴマーク最優秀賞作品も発表。

涌井 史郎様・隈 研吾様が「GREEN × EXPOラボ」メンバーに、

クリエイターには蜷川実花様が就任。

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（会長：十倉雅和）は、2027年国際園芸博覧会開催1500日前を迎えるにあたり、記者発表会を2023年2月8日（水）に大手町プレイスカンファレンスセンターにて開催しました。

2027年国際園芸博覧会をより身近に感じてもらうため、正式略称「GREEN × EXPO 2027」の発表、開催に向けて加速化する活動を牽引していく推進体制「GREEN × EXPOラボ（創生組織）」が発足しました。チェアパーソンには涌井 史郎様、マスターアーキテクトには隈 研吾様がラボメンバーとして就任。そして本博覧会のクリエイターとして蜷川 実花様が就任、屋内展示企画・キービジュアルを担当します。また、2022年10月より一般公募を行った2027年国際園芸博覧会の公式ロゴマークの最優秀賞作品のお披露目と表彰を実施しました。

## 2027年国際園芸博覧会の正式略称 「GREEN × EXPO 2027」

正式略称「GREEN × EXPO 2027」は、「植物」、「花」、「緑」を総称する言葉であり、「自然」、「環境にやさしい」という意味を持つ「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせることで、SDGsやGX（グリーントランスフォーメーション）の実現に貢献する博覧会として、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。



## 2027年国際園芸博覧会の推進体制

### 「GREEN × EXPOラボ（創生組織）」



■チェアパーソン

**涌井 史郎様**

役割：総合監修・ランドスケープ



■マスターアーキテクト

**隈 研吾様**

役割：建築



■クリエイター

**蜷川実花様**

役割：屋内展示企画・  
キービジュアル開発

■農&園芸チーフコーディネーター

**賀来 宏和様**

役割：花き園芸・造園・農の展示・  
出展、植物監理

■運営事業チーフディレクター

**若松 浩文様**

役割：会場運営・管理、催事、広報

## ● 2027年国際園芸博覧会 公式ロゴマーク最優秀賞作品発表



公式ロゴマーク最優秀賞を受賞した  
**喜多 祐子 (きた ゆうこ) さん**

### 【受賞者コメント】

この度は、光栄な賞を頂戴し大変嬉しく存じます。公式ロゴマークのデザインは、私たちが緑から受け取るもの、やすらぎや爽やかな大気を表しています。また国際的な博覧会ということで、日本の文化を取り入れたく日本の美的感覚である「見立ての美学」を意識しました。本博覧会の開催を楽しみにしている一人として、このような形で携わることができ、とても幸せです。



## ● 2027年国際園芸博覧会「開催1500日前記者発表会」フォトセッション



### 登壇者一覧 ※敬称略・登壇順

- 会長・一般社団法人 日本経済団体連合会 会長 十倉 雅和 (とくら まさかず)
- 国土交通副大臣 石井 浩郎 (いしい ひろお)
- 農林水産大臣政務官 角田 秀穂 (つのだ ひでお)
- 経済産業副大臣 中谷 真一 (なかたに しんいち)
- 副会長・横浜市長 山中 竹春 (やまなか たけはる)
- 神奈川県副知事 小板橋 聡士 (こいたばし さとし)
- 横浜市会議長・2027年国際園芸博覧会を成功させる横浜市議員の会 会長 清水富雄 (しみず とみお)
- 神奈川県議会議長 しきだ博昭 (しきだ ひろあき)
- 事務総長・代表理事 河村 正人 (こうむら まさと)
- チェアパーソン (造園家) 涌井 史郎 (わくい しろう)
- マスターアーキテクト (建築家) 隈 研吾 (くま けんご)
- クリエイター (写真家・映画監督) 蜷川 実花 (にながわ みか)
- 公式ロゴマーク選考委員会委員長 田中 一雄 (たなか かずお)

本件に関するお問合せ先

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

広報国際部広報課 (担当: 馬淵) Tel: 045-307-2031

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会公式Webサイト: <https://expo2027yokohama.or.jp/>